

151

内閣總理大臣 阿部信行 述

經濟戰と國民の覺悟

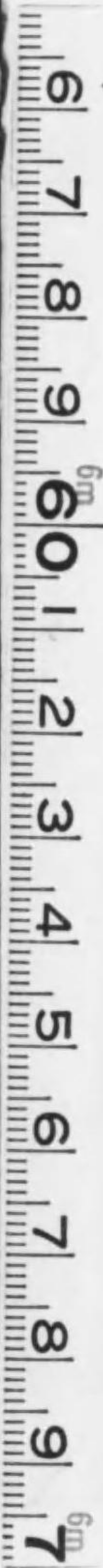


特 252

262

【1 トツレフンバ濟經資物】

會協用活資物時戰 團財
人法



始



經濟戰と國民の覺悟

内閣總理大臣 阿部 信行

聖戰不動の目標

財團法人戰時物資活用協會が成立致しまして茲に物資經濟大講演會をお催し
になるに當り一言所懐を申述べます。

帝國が東亞、殊に支那に於ける事態の改善を目的とする所の聖戰に従事致し
ましてから、既に二年有半になります。列國は、最初、我が國の實力と事變に
對する遂行力如何を疑つて居つたのでありますが、此の二年有半、各方面に抗
日政權の潰滅を續行致し、又新支那中央政權の樹立の氣運も漸く熟しつゝある

(はしがき) 本篇は、昭和十四年十一月十七日、
日比谷公會堂で行はれた本協會主催「物資經濟大講
演會」に於ける阿部首相の講演要旨である。
當日、阿部首相は眼を痛められてゐたに拘らず現
下物資問題の重大性に顧み、押して出席、十數分に
亘り熱誠をこめて國民諸君に訴へ、聽衆に多大の感
激を與へられたのであつた。附記して感謝の意を表
するものである。

のであります。隣邦支那國民と致しまして、今こそ我が日本が事實の上に立證せる不動の目標を正しく認識して、東亞の政治形態、東亞文化の進展、東亞經濟の融合、及び東亞協同の思想連繫の爲に、日滿支三國の固き提携を確立することが、正に世紀の光明となるべきことをはつきり悟らねばならぬと存するのであります。去りながら、國家の總力を擧げて行はれつゝある此の長期建設戰に於て、既往二年有餘の間の軍事費だけでも、合計約百七十億圓の巨額に上るの一事を以て致しましても、我が日本の當面する所の今日の事態の、如何なる性質のものであるかと云ふことが自ら明白になるのであります。

重要な經濟戰

申す迄もなく、今日の戰爭は一政府、一軍隊の力のみを以てしては、到底遂行出来るものではないのでありまして、全國民の力を蓄積し、綜合し、國家の

至上命令の前に之を動員し、傾注して、初めて可能なのであります。就中、近代戰爭に於て、極めて重要な價値を有するに至つた經濟戰に於て、最後の勝利を收めんが爲には、國民經濟に於て、常に敵國に對して優位を保持する必要があることは、過ぐる世界大戰に於て、交戰諸國の痛感した所であります。而して巨大なる資材を必要とする近代戰に在ては、經濟力の優劣が戦ひの勝敗を決定する大きな要因となるのであります。それ故に、武力戰を遂行する一面、其の消耗を補填し、經濟力を充實し、綜合國力の増進を図ることが絶對に必要なつて來るのであります。蘇聯邦に於ける産業五箇年計畫の老大な企畫も、ナチス・ドイツに於ける徹底した統制經濟も、之を戰爭準備として考察する時、初めて能く其の本質を理解し得ること、存するのであります。

又今次歐洲動亂の勃發と共に、自由主義經濟を基調とする英佛諸國でさへも

逸早く統制經濟を實施して、所謂全體主義國に劣らぬ徹底した措置を講じつゝ、あることはすでに御承知の通りであります。況や二年有半に亘つて、未曾有の大戦を遂行しつゝある所の我が國に於て、經濟戰の重要なことは贅言を要せぬのであります。

勝敗を左右するもの

今日我が國の戦時經濟の態勢は、國家總動員法の發動と云ふことに要約されるのであります。總動員法の發動に伴つて、經濟統制の領域は、次々に擴大されつゝあります。其の爲に國民の多大なる犠牲をも敢て忍ばねばならぬ事態になつて居るのであります。經濟戰の深刻化が、思想の混亂と動搖を生んで、問題が思想戰に轉化して、國家の死命を制するに至ることは、舊ドイツ帝國の實例が雄辯に物語つて居る所であります。従ひまして、交戦國は、單に自國の

經濟を統制して、自給自足を圖るばかりでなく、進んで敵國の經濟をして戰爭の遂行を不可能ならしめ或は困難ならしむる爲、又は敵國重要資源の占領又は破壊を行ひ、或は國民經濟を封鎖し、又は長期大規模の持久戰に依つて敵國經濟を疲弊せしめ、思想に對する攻撃と相俟つて敵國の組織を崩壊せしめなければならぬのであります。斯くて國民精神の持久力及び國家の目的に對する眞摯なる理解協力こそ、經濟戰の勝敗を左右する鍵に外ならぬのであります。

先立つは「物」

經濟戰が深刻化し、國民生活が苦しくなつた時は、敵も亦必ず苦しんで居る時であります。勝敗は最後の五分間と能く云はるゝのであります。困苦缺乏に堪へ、不退轉の決意を以て、國家理想に向つて邁進する國民精神の強靱性のあるかなしが、實に勝敗の分れ目であります。我が國民固有の愛國心が、唯戰

場等に於て發揮せらるゝばかりでなく、經濟戰にも亦愛國心がなければならぬと思ふのであります。

我が國に於きましては、事變勃發以來、漸次戰時經濟態勢を強化致しまして軍備の充實、生産力の擴充、大陸に於ける經濟開發、輸出の振興、物價の安定等の爲に、必要なる諸種の政策を實施しつゝあるのであります。それに付けても先立つものは「物」であります。限られたる物資を以て急激に膨脹した各方面の需要を充足することゝなつた結果、國民生活は相當窮屈を感ずるに至つたのであります。

物資の充足が急務

最近、歐洲戰爭勃發の結果、我が國の經濟に好影響を齎し、統制も或る程度緩和し得るかの如き考を懐く人もあるやに聞くのであります。之は全然誤つ

た考へ方であると思ふのであります。今日は前の世界大戰の當時とは全く事情を異にして居るのであります。物資の輸入に關しましても、又輸出の増進に關しましても、徒らなる樂觀は許されないのであります。

政府は歐洲の動亂に對しては不介入の立場を執り、支那事變の處理に専念しつゝある次第であります。事變處理は、決して單なる形の上の和平回復を以て目的とするものではありません。日滿の一體性と、日支の新關係を實現して東亞の新秩序を建設することこそ、實に事變處理の最高目標であります。列國の壓迫を排除し、自主獨往、能く此の目標に到達せんが爲には、我々は一層不
退轉の努力を以て強國日本の建設に邁進せねばならぬのであります。即ち何を
措いても、軍備の充實、綜合國力の培養に努めなければなりません。従つて物
資も、軍需並に之に關係ある生産力擴充の爲の需要充足を第一義とし、官需民

需の制限を忍んで甘受し、國防國家の體制を確立整備することに全幅の努力を傾注することが必要であります。

國民の實踐を要望す

過去二箇年に亘り我が國民の捧げられた所の有形無形の莫大なる犠牲を空しくせず、大陸の曠野に尊い血潮を流した英靈に應へる爲にも、我々は中道にして此の興亞の大業を挫折せしむるやうなことがあつてはならぬのであります。之が爲には、道は近きに在るのであります。國民の一人一人が、經濟戰の戰士たるの自覺を更に徹底せしめて、物資の活用に努め、國家目的に奉仕するの覺悟を其の日其の日に實踐することが肝要であると存じます。私は國民諸君が舉國一體、公益優先の思想に基いて、國家總動員態勢を愈々強化し、以て此の難局を突破せられんことを衷心より期待しお願する次第であります。(完)

一、趣旨

聖戰の大目的を貫徹し、東亞新秩序の建設を遂行するためには、戰闘力の充實、生産力の擴充、並に東亞開發等、國策達成に必要な物資を確保しなければならぬ。此の爲めには、對外決濟力の充實を圖ると同時に、國內物資の活用に大いに力を注ぐことが極めて肝要なることを痛感するのである。よつて民間有志が相謀り、設立したのが即ち財團法人戰時物資活用協會である。

本協會は物資動員に關する民間の中央機關として、政府の基本方針に即應し、國民精神總動員運動とも密接なる聯繫を保ち民間に在る金銀の政府集中及び金銀以外の戦時に必要な物資の回收利用を圖るとともに、更に一般物資の活用愛護を代用品の使用普及等についで、宣傳、勸誘、指導、爲し、以て我が國物資動員に關する一大國民運動を展開し、徹底的且つ完全なる實効を擧げんとするものである。

二、事業

- 一、民間所在ノ金銀ノ集中ニ關スル宣傳、勸誘及幹旋。
- 二、重要物資ノ回收利用ニ關スル啓發、宣傳、勸誘及幹旋。
- 三、代用品ノ使用普及ニ關スル啓發、宣傳及指導。
- 四、退藏品ノ活用、物資ノ消費節約其ノ他物資ノ愛護及使用ノ合理化ニ關スル啓發及宣傳。
- 五、物資ノ回收及廢品ノ再生ニ關スル研究及調査。
- 六、物資回收及廢品再生事業ノ指導及助成。
- 七、物資ノ集中及回收利用ニ伴フ國民貯蓄ニ關スル宣傳、勸誘及幹旋。
- 八、其ノ他本會ノ目的達成上有効適切ナル事業。

三、役員

會長 八田 嘉明
顧問

- 池田成彬 石渡莊太郎 小原直 岩瀨治三郎 川越文雄 河原春
- 賀屋興宜 永田秀次郎 野村吉 作 吉岡彌生 田澤義錦 高島
- 三郎 伍堂卓雄 後藤文夫 青 誠一 中村恒 野呂一雄 栗本
- 木一男 結城豊太郎 有馬頼寧 勇之助 松井泰生 丸山鶴吉
- 鈴木孝雄 秋山静太郎 齋藤樹 柴山雄三
- 理事長 築田伏次郎 關屋延之助
- 常任理事 連 修 監 事
- 理事 津島壽一 赤木朝治

昭和十四年十一月廿九日印刷
昭和十四年十二月十日發行
【定價二錢】

編輯兼 橫山正一
印刷者 東京市澁谷區中通一ノ三六 岡 信 吉
電話青山七二九八番

發行所 東京市麹町區霞ヶ關 舊貴族院內
財團法人戰時物資活用協會
電話銀座座七〇四八・七三四八・七〇八四

終

